

副専攻名 日本史学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

概説によって、長い時代の流れを理解し、実習によって、古代から近代にわたる研究の方法論を修得する。そして、特殊講義をいくつか受講することによって、担当する教員が行っている実際の研究活動に触れ、演習をいくつか受講することによって、自ら文献史料を分析する作業を体験することができる。

副専攻の学習成果

大きな時代の流れを理解しながら、初歩的な研究活動のスキルを身に付ける。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
11015	日本古代中世史概説A	古代の史書について理解を深め、それ自身が歴史的所産であることを認識する。	1		
11016	日本古代中世史概説B	顕密仏教の特質を理解し、それが中世後期において変化してゆく実態に迫る	1		
11017	日本近世近代史概説A	・日本近世社会に関する基礎知識を学ぶ ・近世研究の理論を学ぶ	1		
11018	日本近世近代史概説B	金沢の近現代史に関する理解を深める。	1		
41501	日本古代史特殊講義	古代の官職制度の変遷と、その歴史的背景について理解を深める。	2~4		
41502	平安時代史特殊講義	皇位継承儀礼の変化と、その歴史的背景について理解を深める。	2~4		
41503	日本中世地域史特殊講義	守護大名大内氏に関し、幕府や朝鮮・明との関係を理解する	2~4		
41504	日本中世寺院史特殊講義	中世における宗教と社会の関係及び聖地の役割を理解する	2~4		
41505	日本近世社会経済史特殊講義	・日本近世の経済史に関する理解を深める ・近世経済史の研究の仕方を学ぶ	2~4		
41506	日本近世ジェンダー史特殊講義	・日本近世ジェンダー史に関する理解を深める ・近世ジェンダー史の研究の仕方を学ぶ	2~4		
41507	日本近代都市史特殊講義	・日本の近代都市史に関する理解を深めること ・史料の読解能力を身につけること	2~4		
41508	日本現代都市史特殊講義	・日本の現代都市史に関する理解を深めること ・史料の読解能力を身につけること	2~4		
41509	日本古代中世史特殊講義A	古代・中世の国家と社会について理解する	2~4		
41510	日本古代中世史特殊講義B	古代・中世の文化について理解する	2~4		
41511	日本近世近代史特殊講義A	近世・近代の国家と社会について理解する	2~4		
41512	日本近世近代史特殊講義B	近世・近代の文化について理解する	2~4		
41513	日本古代政治史演習A	古代の政治史に関する史料(六国史中心)を解読する。	2~4		
41514	日本古代政治史演習B	古代の政治史に関する史料(古記録中心)を解読する。	2~4		
41515	日本古代制度史演習A	古代の制度史に関する史料(六国史中心)を解読する。	2~4		
41516	日本古代制度史演習B	古代の制度史に関する史料(古記録中心)を解読する。	2~4		
41517	平安時代政治史演習A	平安時代の政治史に関する史料(六国史中心)を解読する。	2~4		
41518	平安時代政治史演習B	平安時代の政治史に関する史料(古記録中心)を解読する。	2~4		
41519	日本中世地域史演習A	中世的共同体と寺社の関係を示す史料を解読する	2~4		
41520	日本中世地域史演習B	中世村落と寺社の関係を示す史料を解読する	2~4		

副専攻名 日本史学**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

概説によって、長い時代の流れを理解し、実習によって、古代から近代にわたる研究の方法論を修得する。そして、特殊講義をいくつか受講することによって、担当する教員が行っている実際の研究活動に触れ、演習をいくつか受講することによって、自ら文献史料を分析する作業を体験することができる。

副専攻の学習成果

大きな時代の流れを理解しながら、初歩的な研究活動のスキルを身に付ける。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41521	日本中世寺院史演習A	中世前期の社会と寺社の関係史料を解読する	2~4		
41522	日本中世寺院史演習B	中世後期の社会と寺社の関係史料を解読する	2~4		
41523	室町戦国時代史演習A	守護大名大内氏及びその領国内村落の史料を解読する	2~4		
41524	室町戦国時代史演習B	戦国期惣村の史料を解読する	2~4		
41525	日本近世前期演習A	・日本近世前期に関する研究史を学ぶ ・近世前期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う ・発表、発言の能力を養う	2~4		
41526	日本近世前期演習B	・日本近世前期に関する研究史を学ぶ ・近世前期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う ・発表、発言の能力を養う	2~4		
41527	日本近世中期演習A	・日本近世中期に関する研究史を学ぶ ・近世中期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う ・発表、発言の能力を養う	2~4		
41528	日本近世中期演習B	・日本近世中期に関する研究史を学ぶ ・近世中期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う ・発表、発言の能力を養う。	2~4		
41529	日本近世後期演習A	・日本近世後期に関する研究史を学ぶ ・近世後期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う ・発表、発言の能力を養う	2~4		
41530	日本近世後期演習B	・日本近世後期に関する研究史を学ぶ ・近世後期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う ・発表、発言の能力を養う	2~4		
41531	日本近代史演習A	近代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。	2~4		
41532	日本近代史演習B	近代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある。	2~4		
41533	日本現代史演習A	現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。	2~4		
41534	日本現代史演習B	現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある。	2~4		
41535	日本近現代史演習A	近現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。	2~4		

副専攻名 日本史学**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

概説によって、長い時代の流れを理解し、実習によって、古代から近代にわたる研究の方法論を修得する。そして、特殊講義をいくつか受講することによって、担当する教員が行っている実際の研究活動に触れ、演習をいくつか受講することによって、自ら文献史料を分析する作業を体験することができる。

副専攻の学習成果

大きな時代の流れを理解しながら、初歩的な研究活動のスキルを身に付ける。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41536	日本近現代史演習B	近現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある。	2~4		
41537	日本史学実習A	古代・中世史の研究を進める上で不可欠な基礎的知識を体得する。	2		
41538	日本史学実習B	近世・近代史の研究を進める上で不可欠な基礎的知識を体得する。	2		